特定非営利活動法人 コミュニティ・サポートセンター神戸（ＣＳ神戸）　2012年1月27日発行　通巻66号
〒658-0052　神戸市東灘区住吉東町 5-2-2ﾋﾞｭｰﾀﾜｰ住吉館 104　　TEL 078-841-0310　FAX 078-841-0312

市民フロンティア

URL http://www.cskobe.com/　　E-MAIL info@cskobe.com　　発行人：中村順子　編集人：岡本雅士

2012年 新春巻頭言

『歳の節目におもう　三つの計画』

中村　順子　（CS神戸理事長）

千年に一度の大津波、二万年に一度の確率でしか起きないとされた原発事故の発生した2011年が改まり、2012年が巡ってきました。私たち神戸市民は、17年前に、これもまた千年に一度といわれた大都市直下型大震災に見舞われ、生きている内に激甚災厄に何度も遭遇する人生を憂い、その意味を深く考えさせられる特別の節目となりました。新年にあたり、皆さんと同様に、越し方行く先について、これでよかったのだろうか、果たして人や社会の役に立っているのだろうか、これからどのようにすればいいのだろうか・・・自問自答の時でした。

例年以上の逡巡の要因は、周辺状況の急激な変化です。不安定なヨーロッパ経済が引き起こす実態なき円高、アラブでは若者がインターネットで旧体制を倒すも春は遠くに、北朝鮮の指導者交代、隣の大阪では従来の行政の決定機構を根こそぎ見直す動き等々、すべてわたしたちの生活や地域社会、そしてＮＰＯ活動に根っこはつながることばかりです。とはいえ、直接関与できることはしれており、できないことは注意深くウオッチして理解を深め、心情的協力に留めざるを得ません。肝心なのは、その事象の根っこを自分の価値で統一し、小さなことでも実行できる項目を絞り込むことではないかと考え、今年は三つの実行計画をたてました。

一つは、引き続き岩手県大槌町支援です。昨年の 9 月からさわやか福祉財団と共に、大槌町の仮設住宅住民の支援に当たるＬＳＡ（生活復興相談員）等 50～60 名みなさんに、被災者の自立に向けた支援のあり方について、阪神淡路の経験を教訓にした実践研修を月 1 回のペースで行っています。被災した当事者が支援者になるプログラムとして、住民による住民のための「よったんせ笑いの弁当会」「よったんせ男の調理室」がいよいよ開催される運びとなりました。

「よったんせ笑いの弁当会」は仮設住宅住民同士が、「よったんせ男の調理室」は仮設外の住民が仮設の方を対象に取り組みます。「生かされた命を役立てたい」。たくさんの被災者から搾り出されたこの言葉が、私たち外部支援者と共振しあい、協働プログラムを生み出しました。月 1 回の大槌町通いの足どりをますます軽くさせてくれます。その様子は適宜ＣＳ神戸ホームページでお知らせします。

二つには、ＣＳ神戸が認定ＮＰＯ法人を取得することです。すでに準備中ですが、内容にふさわしい事業や組織を、役員・スタッフ・会員が力を合わせ再構築し、新しいＣＳ神戸の枠組みをしっかり創りあげます。この案件に関しては各事業部会・企画調整会議・理事会・総会を経ながら積み上げていきますので、改めて別の機会にご報告いたします。

三つ目は、個人的なことながら“四国八十八か所お遍路逆打ち巡礼”を発念、身体を使いながら先人の言葉を傾聴することで、自分の真情を問い直す作業を生活の中に組み込みます。2 月から折を見つけて通い、1 年間くらいで満願成就したいと思っています。

団体の代表という立場上、判断を迫られる場面が多くありますが、その際、ゆるぎないミッション性に加え、高い人間性は重要な要素となります。ほど遠い状況を少しでも近づけたいと考えた末、心身の鍛錬さらに観光ができるお遍路に到達しました。今年はうるう年で逆うち（逆回り）ができ、効果 3 倍とか？　変身を楽しみにしておいてください。

自分自身への課題、ＮＰＯや所属組織の課題、取り巻く社会の課題・・・これらをいつも自分に引き付けて考え、互いを関連づけながら判断し計画し最終の行動を選び取る、小さなことでも一つ一つ積み重ねていくことが、明日への希望つながるという自明の理を再認識しました。新年という歳の節目は、実にこのようなことを考えるに相応しいものです。

中村順子理事長が、「平成 23 年度兵庫県社会賞」を受賞しました！

この賞は、県民文化の高揚、科学技術の向上、スポーツの発展、明るい地域社会づくりに顕著な貢献をした個人・団体に贈られるものです。『市民活動団体の拠点としてコミュニティ・サポートセンター神戸を設立し、県民ボランタリー活動の推進に貢献するとともに、都市と農村との交流事業を展開し、地域の活性化に努めるなど、循環型コミュニティづくりに尽力したこと』での受賞となりました。（岡本）

2011年度　第3回理事会を開催

11月14日(金) 午後4時～6時、ＣＳ神戸にて今年度の第3回理事会が開催されました。足立勝、金芳外城雄、中村厚子、坂本登、中村順子の各理事が出席、石川両一、末村祐子の両理事の委任状を得て成立し、上半期の活動報告と決算の説明がなされました。経常収入は5140万円、今期の特別支出として移転関係が約350万円、市民活動サポート基金の特別助成が175万円、東日本震災寄付金100万円となったことが報告され、承認されました。認定ＮＰＯについては、既に本認定の取得要件は満たしており、2012年度に認定業務が神戸市に移管されることを待って、次年度早々に申請を行うことが決まりました。(岡本)

東日本大震災 生活支援状況のご報告（2011年3月18日～2011年12月31日）

CS神戸では「兵庫県に来られた被災者のサポート」をテーマとして、東日本大震災の被災者に対する支援活動を行ってきました。春頃は冷蔵庫・洗濯機など大型家電の依頼が相次ぎましたが、夏になると、網戸や扇風機など暑さを凌ぐための要望が増えました。また、物品ではなく仕事や法律に関する相談も寄せられるようになりました。今後はニーズがさらに個別化することが考えられ、息の長いサポートを続けていきたいと思っています。以下、１２月末までの支援状況をご報告します。(飛田)

被災者の方々の属性　※2011年6月時点での兵庫県への被災避難者総数は149世帯453名

依頼世帯数	55世帯（人数141名）
支援件数	述べ100件
出身県内訳	福島県37、宮城県8、茨城県4、岩手県2、栃木県2、東京都1、千葉県1
転入先内訳	神戸市灘区2、中央区2、長田区4、須磨区8、兵庫区1、垂水区16、西区7、北区7、芦屋市2、西宮市1、伊丹市1、三木市1、県外3

支援内容の内訳　※⑨以外はすべて無料

種類		詳細	件数
物品	①電化製品	冷蔵庫、洗濯機、掃除機、電子レンジ、炊飯器、トースター、ストーブ、扇風機等	59
	②生活用品	食器、テーブル、椅子、布団、毛布、カーテン、洗剤等	
	③子ども関係	子ども服、離乳食、オムツ、ベビーベット、ベビーゲート、粉ミルク、おもちゃ等	8
	④自転車	中古自転車	3
	⑤網戸	1世帯につき3枚まで対応	8
情報/サービス	⑥就業支援	行政および民間の被災者対象求人の紹介・マッチング	10
	⑦法律相談	無料法律相談会の実施(7/19、兵庫県弁護士会との共催)	1
	⑧交流会	福島県出身者を対象とした交流会の開催（10/6）	1
	⑨生活支援	買い物の付き添い、子育て家庭の洗濯・掃除	2
	⑩その他情報提供	一般住宅、病院、無料の美容院の紹介等	8
合計			100

協力いただいた企業/団体/NPO法人/個人

組織・団体名		詳細
企業・団体	①住友ゴム工業(株)	支援金、物品倉庫の無償貸与
	②P&G Japan	支援金、洗剤等のスターターキット、紙オムツ等
	③(株)エディオン（ミドリ電化）	家電4点セット(冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、照明)
	④友利家	無償のヘアカットチケット
	⑤美容院ネットワーク	神戸・西宮・尼崎の7店舗が加盟　ヘアカットチケット
	⑥雅工房	自転車の修理および無料提供
	⑦(株)フロッグハウス	網戸の修理および設置
	⑧兵庫県弁護士会	無料法律相談会(7/19)の実施協力
NPO法人	⑨神戸西・助け合いネットワーク	物品・生活用品の調達・修繕および配達
	⑩神戸まちづくり研究所	物品、情報交換
	⑪神戸ライフ・ケアー協会	日常生活支援サービスの提供
	⑫定住外国人支援センター	物品、情報交換
個人	⑬配達・保育・事務ボランティア	一般市民（11名）
	⑭物品提供	一般市民（約110名）

東灘区民センター小ホール『ひがしなだ区民カレッジ』が開講しました

～ 興味深い講座が続々登場します ～

区民による区民のための講座として、市民の方々の持っている豊かな教養、文化、アイデアや体力を、広く区民の皆さんに分かち合っていただくための「ひがしなだ区民カレッジ」（ワンコイン講座 500 円）が始まりました。

第 1 回目は、12 月 5 日（月）の村田晴彦さんによる「漢字のルーツを知り『墨象』でオリジナル年賀状を描こう！」でした。参加者は 15 名となり定員一杯の大盛況で、漢字の基になった象形文字のルーツを知り、その奥深さに参加者一同魅了されてしまいました。もう一度開催してほしいとの要望が多く、2 月 6 日（月）に再度開講する予定です。

右は墨象で描いた「桜」

ギター教室の様子

第 2 回目は、1 月 11 日（水）から「中高年のためのギター教室【入門】【初級】～クラシックギターで弾くポピュラーミュージック」がスタートしました。5 ヶ月で全 20 回のレッスンを予定しており、講師をされた塚口昭彦さんは「家での練習が大事。講座では復習の時間をしっかりとって 1 歩ずつ進めて行くことにしています。少人数のクラスなので、1 対 1 のしんどさをお互いに感じることなく、気楽な雰囲気で、個人のレベルにあった指導ができます。最後には発表会ができれば」とのお話をされていました。

ギター講師の塚口さん

これ以外にも沢山の魅力ある講座を用意して、皆様のご参加をお待ちしています。アットホームな雰囲気の中、今年は新たなことにチャレンジしてみませんか。（兵頭）

【2012 年 1 月下旬～3 月初旬のラインアップ】

日時	講座名■料金	内容	講師
1/25(水)19:00～	気功 / 500円	導引養生功～心と身体の中国健康気功	古高　春樹
1/30(月)10:00～ (子ども)14:00～	スクラップブッキング(自分史) / 500円	アルバム整理で思い出を楽しく演出！	上西　和恵
1/30(月)・2/6(月)・2/20(月)13:00～	初めての手織り / 500円×3回＋材料費800円	簡単な織り機を使って手織りの布づくり	岡　みちこ
2/2(木)～ 毎月第1木曜10:00～	プリザーブドフラワー / 500円＋材料費1500円	ドライフラワーでつくるバレンタイン・ギフトボックス	寺尾　啓子
2/6（月）10:30～	墨象/500円	漢字のルーツを知り、「春」をテーマに絵手紙を描こう	村田　晴彦
2/26(日)15:00～	戦国武将の家紋と名字にたどる、わが家のルーツ / 500円	わが家のルーツを知り、歴史のロマンへ	田中　豊茂
2/29(水)10:00～	色彩心理学入門(スムーズな対人関係のきっかけ) / 500円	好きな色から、自分を知り、癒すカラーセラピー	井上　葉子
2/29(水)14:30～、19:00～	会社・お店でのネット活用法 / 500円	ネットを活用して、顧客を集める方法を身につけます	小手川　真寛
3/4(日)13:30～	安心安全な食生活とは～アナタの創意で安心な食卓を / 500円	食品に関する法律や表示について具体的にお話します	増田　初美
3/5(月)13:30～	大人のための若返りリトミック / 500円	楽しい音楽と簡単な体操で若返りをめざします	田村　由美子

ワラビー
コミュニティビジネス（ＣＢ）視察バスツアー

～ 海を越え、淡路島に行ってきました ～

昼食風景。色々な感想を交換しました

今年で３回目となるＣＢ視察バスツアー。一人ではなかなか行けないＣＢの現場で、実践者の生の声が聞けると好評です。今年は、11 月 29 日（火）に淡路島の３団体を廻りました。

一ヶ所目はＮＰＯ「法人しらゆり会」。地域で暮らす精神障がい者のために、病院でも福祉でも担えない「居場所」、「住居」、「就労」を主軸とした活動をしています。就労支援のために運営している喫茶では、飲み物の料金設定にも、お客さん、働く人、団体の 3 者にメリットがあるようにと、ＣＢの視点を大切にしています。「活動のやりがいと難しさは隣り合わせだが、行政・医療の手の届かないニーズを捉えられる存在として、利用者に寄り添った支援をしていきたい」とのお話に一同感銘を受けました。

二ヶ所目の「あわじＦＡＮクラブ」は、地域資源を活用し、食・農・自然の実体験の場を提供し、淡路の魅力を発信しているＮＰＯです。淡路島への移住相談事業も受託し、他では移住前相談のみが通常ですが、ここではＮＰＯならではの取り組みとして、移住後の相談や交流事業なども行っています。今年は古民家を改装し、田舎暮らしを楽しめる体験施設をオープンするなど、活動が拡がっています。

三ヶ所目は、廃校になった保育所を改装した「そばカフェ生田村」です。人口 400 人の村で、地域活性化を目指し、そばの栽培から製造・販売まで、全工程を生田村で行っています。そばのおいしさに、生田村まで食べに来られる方は半年で 5000 人を越えました。そばカフェのスタッフの皆さんは、有償ボランティアで協力しています。「村の誰もが、地域を何とかしたいという思いがある。それをうまくまとめて、引き出していくことが大切」と地域活性化の成功の秘訣が語られました。

いずれも大変温かい受け入れと、課題解決に向けての熱意が印象的でした。参加者からは、地域を守っていこうとする熱意や、年齢にかかわらず生き生きと活動されている姿に元気をもらった、などの声が挙がり、様々な感想を語り合いながらの帰路となりました。（狩野）

ふるさとＣＢ創出支援事業
山芋収穫体験と炎のイベントツアー

～ 「農」の文化と「火」の文化を堪能 ～

ＣＳ神戸が、兵庫県丹波県民局の「都市農村交流連携促進事業」を、「篠山市西紀中地区里づくり振興会」と一緒に主催し、「とろろ街道炎の祭り実行委員会」の後援を得て、『山芋収穫体験と炎のイベントツアー』を 11 月 13 日（日）に実施しました。

中型観光バス 1 台を借り切って、20 名の参加者と共に篠山市西紀町の「黒豆の館」へ行き、午前中は、西紀中地区里づくり振興会会長の引率の元に、篠山の特産物である山芋堀りを近くの農家さんの畑で体験しました。さつまいもは傷つけないように掘るのが大変ですが、山の芋は土が柔らかくてとても簡単に掘り起こすことができました。その後、山の芋を使ったコロッケ、お好み焼き、麦とろごはん等々を「黒豆の館」で楽しんだり、周辺のステージイベントを見学したりして、参加者たちと一緒に楽しい時間を過ごしました。

晩秋の夕暮れ時、山の芋畑で収穫後の蔓殻（つるから）が燃やされる点火式が７ヶ所で行われました。少し肌寒さを感じる身も心も引き締まった空気の中、たなびく煙と立ち昇る真っ赤な炎に焦がされたあかね空は、晩秋の風物詩といえるもので、めったに見られない厳かな雰囲気を味わうことができました。

西紀中地区では、元気な地域づくりを進めるため、「農」への誇りを大切にしながら、その風景の美しさを見つめ直し、この「とろろ街道炎のまつり」を毎年開催しています。「山の芋」をはぐくんできた「農の文化」と、失われつつある「火の文化」が堪能できる、とても印象的なイベントでした。皆様も機会があれば是非一度ご参加されることをお勧めします。（国枝）

しめやかに、力強い炎（カラーでなくて残念！ 予算がありません……。）

～2011年度 兵庫県新しい公共支援事業～
ＮＰＯマネジメントスクール スタート！

ＣＳ神戸で実施する新しい公共支援事業のひとつ「ＮＰＯマネジメントスクール」が始まりました。これは、講座とコンサルティングの二本立ての事業で、いずれもＳＷＯＴ分析とＢＳＣ（下記参照）をツールとしたマネジメント手法を取得することを目的としています。

講座は中間支援組織のスタッフを対象とした 11 月 12 日の本校からスタート。アメリカから帰国されたばかりの宮垣元氏（甲南大学文学部教授）を特別講師にお招きし、「サンフランシスコにおけるＮＰＯの現状」というテーマでお話いただきました。その後、當間克雄氏による「ＳＷＯＴ分析とＢＳＣ」と続き、実際にあった失敗事例を用いてのグループワークでは、白熱した議論がなされました。

白熱したグループワーク

12 月２日からは、芦屋と篠山でサテライト校を開催、当該エリアの中間支援組織であるＮＰＯ法人あしやＮＰＯセンターと篠山市民プラザに協力いただきました。

参加者からは、「マネジメントのとっかかりをつかめた気がする」、「ぜひ団体に持ち帰って、研修で使用したい」といった声が聞かれました。

１月からはコンサルティング事業に移行し、より個別ニーズに沿ったマネジメントサポートができればと考えています。（飛田）

丹波サテライトでの集合写真

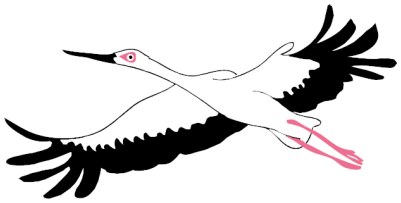
■SWOT分析とは？
組織の内部の「強み」「弱み」、組織を取り巻く環境の「機会」「脅威」を総括的に分析する手法。

■BSCとは？
バランス･スコア･カードのことで、①財務、②顧客、③業務プロセス、④学習と成長、の4つの視点から具体的な数値目標を盛り込み、事業戦略や事業評価をする手法。

兵庫県立大学 全県キャンパス事業
協働プロジェクト（神戸・姫路）＆ 合同ワークショップ（豊岡）のご報告

昨年度から始まった兵庫県立大学との協働事業「全県キャンパス構想事業」。地域全体をキャンパスと捉え、大学と地域の連携を強めることによって教育力・地域力が向上することを目指しています。昨年度のワークショップを経て、姫路と学園都市の２つのキャンパスにて、具体的なプロジェクトが進行しています。

姫路キャンパスでは、９つの NPO に学生が訪問し、団体のプロモーションビデオを作成中です。授業外でも自主的に団体の行事に参加したり、スタッフにインタビューしたりと、交流が進んでいます。学園都市キャンパスでは近隣の NPO の協力を得て、障がい者がつくった菓子パンの販売促進プロジェクトを行っています。カロリー標記をしたり、ポップを作成して分かりやすく商品を紹介したり、新しいアイデアが実践されています。１月からは販路拡大のため、キャンパス内生協にて、実験販売も開始予定です。



また、11 月には県立大の研究所がある豊岡においても大学と地元の地域団体で合同ワークショップを開催しました。豊岡と言えばコウノトリですが、コウノトリ保全を中心とした環境や教育の取り組みを学んだ後、「阪神間の県立大生が豊岡とどのように関われるのかを考えよう！」と題したアイデア出しを行いました。「修学旅行受け入れためのパッケージをつくる」、「地元の特産品である“コウノトリを育む米”を使った米粉商品を開発し、学食で販売する」など、様々な意見が出、教員・学生・地元 NPO など異質な者同士が出会うことで生まれるエネルギーを体感する機会となりました。（飛田）

アイデアが沢山でました！（豊岡ワークショップ）

……「神戸市内ＮＰＯ法人活動実態調査事業」より……

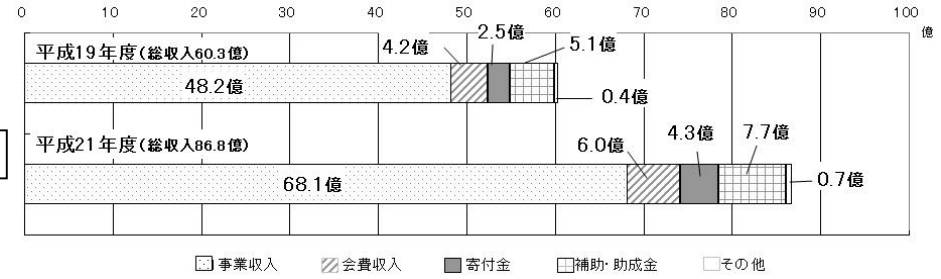
シリーズ：神戸市内のＮＰＯの実態（第１回）

２０１１年８月に終了した「神戸市内ＮＰＯ法人活動実態調査」（神戸市より受託）より、その概要をシリーズでご紹介していきたいと思います。第１回となる今回は、公開されている収支計算書の分析結果についてです。

１．ＮＰＯ法人全体の総収入規模は平成２１年度約８７億円で、増加している。

平成 19 年度の総収入額は 60.3 億円、平成 21 年度が同 86.8 億円と、この 2 年間で 26.5 億円、43.9%増と順調に増加しています。収入源の内訳をみると、両年度とも事業収入が 8 割近く、会費・寄付金収入 1 割強、補助・助成金 1 割弱の構成比でほとんど変化はありませんが、寄付金収入が 2 年間で 72.6%増と高くなっています。また１団体あたりの総収入の平均は、平成 19 年度が 1,350 万円、平成 21 年度は 1,648 万円と 22.1%の増加となっています。

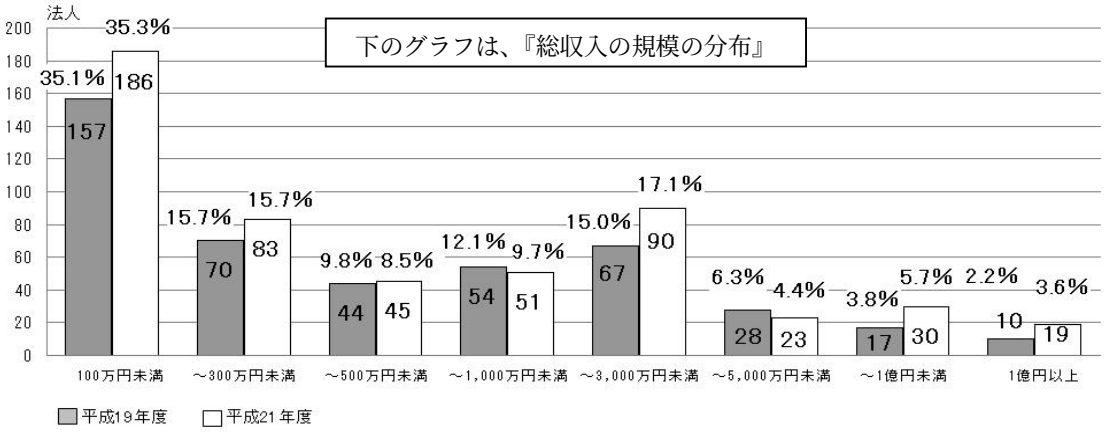
右グラフは、『法人全体の収入規模の推移』



２．総収入３００万円未満の団体は約５割。一方、１千万円以上が３割を占め、５千万円を超える団体も増加。

NPO 法人にはボランティア型や事業型など多様な性格の団体が混在し、活動の内容・規模・頻度も千差万別です。ひとくちにＮＰＯと言っても、収入ベースでみると大きな差があることがわかります。

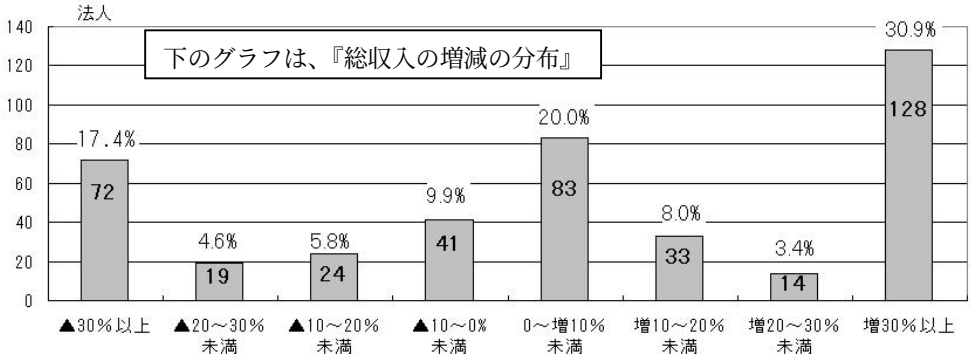
下のグラフは、『総収入の規模の分布』



３．ＮＰＯ間の収入格差が拡大。（平成 19 年度と平成 21 年度における総収入の増減について）

両年度の増減をみると、3 割以上増収 128 団体（30.9%）、微増・微減（1 割未満）合わせて 124 団体（29.9%）、3 割以上減収 72 団体(17.4%)と大きく 3 つに分化しています。この結果、平成 19 年度では、5,000 万円以上の 27 団体(6.1%)の総収入がＮＰＯ全体の総収入の 49.0%を占めていましたが、平成 21 年度では 5,000 万円以上の 49 団体（9.3%）が全体の 62.3%と、わずか 1 割弱の団体の総収入が、ＮＰＯ全体の総収入の 6 割以上を占めるに至っています。（岡本）

下のグラフは、『総収入の増減の分布』



ＣＳ神戸の　恒例＆新たな活動

ギャラリーにて、『まちの掲示板』が始まりました！

海側の通路に面しているギャラリーに、近隣のＮＰＯなどが実施するイベントを紹介する『まちの掲示板』のコーナーを設けました。掲示板では、実施日の順番にタイトルや場所等を貼り出し、週１回更新することでリアルタイムな情報を提供しています。横のラックにはチラシも置き、ＪＲ住吉駅から東灘区役所に向かって歩く人達が立ち止まってご覧になっています。チラシを取っていかれる方も多く、役に立っているようです。広報はＮＰＯにとって重要かつ思うように行かない難しいテーマです。中間支援団体の役割を担うと共に、実施するイベント・講座の内容を通じてＣＳ神戸の具体的な活動を知って頂くことで、地域に根付いた団体として自らの情報発信の一助になることを願っています。（岡本）

２０件以上のイベントを掲載

スタッフによる、秋のミニサロン講座が終了しました。

興味津々の参加者の方々

初の試みとして、スタッフが講師となり各人の得意なテーマで行う８つのミニ講座が予定通り開催されました。各々の参加者は数名程度でしたが、いろいろな年代や性別の方に来ていただき、とてもアットホームな雰囲気で情報交換ができました。また来年度も実施する予定です。その節は是非ご参加下さい。（岡本）

＜内容／ﾅﾋﾞｹﾞｰﾀｰ＞

大学生のためのＮＰＯ講座	飛田	菩薩たちとボランティア	村上
退職後のセカンドライフの楽しみ方	国枝	ＮＰＯが管理する地域の駐輪場	朴
はたらくステージについて語ろう	狩野	介護サービスの質を考える	小林
神戸市のＮＰＯの実態	岡本	地域の人と共につくる文化施設	兵頭

年末恒例！　ＣＳ神戸 交流会を開催しました

１２月２２日（金）、恒例行事になりつつある大交流会をＣＳ神戸事務所にて開催しました。当日は５０名を越える方々にご参加いただき、賑やかなパーティーとなりました。最初は『ＣＳ神戸今年の３大ニュース！』。３位→事務所の移転、２位→15 周年記念事業、１位→中村理事長の光と影（骨折と社会賞受賞！）を発表し、関係者や協力者にコメントをいただきました。中盤で盛り上がったのが、かくし芸披露のコーナー。公募したのですが残念ながら希望がなく、今回はＣＳ神戸のスタッフが音楽や手品を披露しました。最後は、丹波の農家民宿「花ひろ」のペア宿泊券、美術館の無料招待券などを賭けた大ビンゴ大会。こちらもハズレくじなしで大盛況となりました。来年度も交流会を実施したいと思いますので、かくし芸披露も含め、ぜひご参加いただきたいと思います。（飛田）

かんぱーい♪

森本さんのピアノと峯村さんのフルート

びっくりの連続！　檜垣さんの手品

躍動するリズム！　朴さんのチャンゴ

ボランティアの新潮流

実践的プロボノワーカー養成講座

仕事を活かした、新しい協働形の社会貢献です！

プロボノとはラテン語で「公共善のために」を意味する言葉で、仕事で培った経験を活かしたボランティアのことです。社会貢献のあり方として近年急速に関心が高まっています。ここではそのパイオニアであるＮＰＯ法人サービスグラントさんより講師をお招きし、この新しい動きを一緒に学びます。

公開講座　プロボノとは何か？　その魅力は何か？
をわかりやすくお話します
日　時：2012年2月4日（土）13:30～16:45

入門講座　広報、顧客開拓、提供サービスの充実、新事業企画などの事例を通じて学びます。
日　時：2012年2月18日、3月3日、3月10日、3月24日。
※各日とも土曜、13:30～16:45
受講料：公開講座のみ 1,000円
公開講座＋入門講座＜全5回＞5,000円
（場　所）神戸国際会館セミナーハウス（各線三ノ宮）
（後　援）兵庫県経営者協会、神戸商工会議所、兵庫県中小企業同友会

充実セカンドライフ準備セミナー

定年後のいきいきした毎日を送るヒントに！

セカンドライフを充実させるために必要な知識について、各テーマの専門家が実生活に役立つよう説明します。

日　時：2012年2月4日（土）10:00～17:00
場　所：ＣＳ神戸事務所
内　容：①セカンドキャリア支援（再就職）
②定年後の生活設計（年金）
③定年後のやりがい・生きがい（地域活動）
受講料：1,000円

ＮＰＯ決算準備セミナー

信頼されるＮＰＯであるための必須講座です！

ＮＰＯ法人として必要な決算処理が行えるよう、やるべきことをしっかりと学べる講座です。また、ＮＰＯ法改正によって、新たに導入されることとなった活動計算書についても詳しく説明します。

日　時：2012年2月18日（土）、25日（土）
13:30～16:40
場　所：ＣＳ神戸事務所
講　師：荻野俊子さん（ＮＰＯ会計支援センター代表）
受講料：4,000円（2日分）

落合恵子氏講演会

人生いきいき！　生涯現役、社会活動のススメ
『いのちの感受性～輝いて今を生きる～』

今年の生涯現役セミナーは作家の落合恵子さんをお招きします。執筆活動と平行し、子どもの本専門店「クレヨンハウス」やオーガニックレストランも主宰されています。ぜひ、ご参加ください！

日時：2012年3月1日（木）13：30～15：10
会場：神戸市勤労会館　7階大ホール
対象：生涯現役を目指している方、興味がある方ならどなたでも
参加費無料！
定員：350名
申込：2月8日（水）から電話・ＦＡＸで先着順

（財）神戸いきいき勤労財団「落合恵子氏講演会」係
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1
TEL 078-251-5561　FAX 078-252-9448
※申込はCS神戸ではありません。ご注意ください！

会費･寄付･寄贈をいただき、誠にありがとうございました

（期間11年10/17～12年1/17、いずれも順不同・敬称略）
※トータルケアシステムは別枠で取扱っています。

【会費】　檜森絹代、安元邦夫、大和三重、ＮＰＯ法人全日本少年硬式野球連盟、原田早恵子、岸　千尋、日下恵子、木幡幸雄、江口敬一、水船春美、松下忠義、ＮＰＯ法人西須磨だんらん、荻野俊子、光武　茂、ＮＰＯ法人サポートステーション･灘つどいの家、小島邦明、古川健二、山本好克、山本容子、岡田　覚、足立　勝、石井真由美、山内正太郎

【寄付】　中村順子、国枝哲男、村上義弘、狩野仁未、朴京守、飛田敦子

■東日本大震災への募金･寄付について■
震災関連の募金につきましては、原則として募金箱に入金いただく形式にさせていただいており、お名前の掲載はしておりません。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

2011年度の会員継続をお願いいたします！

市民活動を共に支えて下さる賛助会員（個人・団体）の方々を募集しております。
【会　費】**個人会員**　3,000円／年、**団体会員**　10,000円／年
【振込先】**名義**　ＮＰＯ法人コミュニティ･サポートセンター神戸
郵便振替　00950-2-144205

編集後記

中村理事長の兵庫県社会賞は、スタッフ一同にとっても大きな誇りです。先輩の方々が築いてこられた有形・無形の資産を大切に、うまく活かしながら、新たなことにチャレンジしていく刺激的で創造的なＣＳ神戸でありたいと思います。（Ｏ）